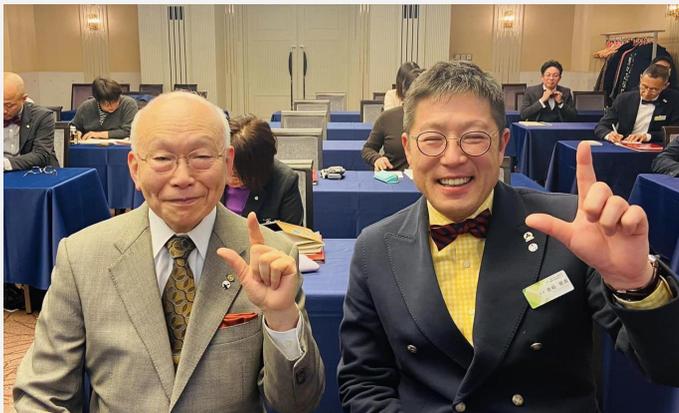


活動報告書

モーニングセミナー ピックアップ

2月17日 戸田 徹男 氏

2月24日 加藤 康昭 氏



「人間通 - 人の心をつかむ -」

「やると決めたら即実践 ワンランク上の自分へ
～どんなときも動きまわれ～」

穏やかな優しい口調で「あるウェイトレスの手記」を語り始めた戸田徹男倫理研究所名誉研究員。心が満たされている余裕のある状態だったからこそお客様のクレームを自己の成長に繋げられたと話します。カーネギーの著書「人を動かす」から抜粋し人間が渴望しているのは人に認められることだと教えて下さいました。「鏡は先に笑わない」は至言でした。

人生初の講話に挑んだ静岡市倫理法人会の加藤康昭運営委員。鬱屈した学生時代を経て全くの未経験の墓石石材業に飛び込み、勝負をかけた仕事で成功を収めます。しかしコロナ禍で業績が悪化し家族と不仲になり、苦難の最中に静岡市倫理法人会に入会しました。安田法人SVの倫理指導を受け、倫理実践することで大逆転。家族の絆が深まる感動の体験談を話して下さいました。

バーベキューだぜ！ (2/11)

クリーン大作戦 (2/11)



連休の中日に倉嶋会長の会社敷地内で、会員とその家族でバーベキューを楽しみました。好天にも恵まれ最高でした！

恒例のクリーン大作戦です。ホテルアソシア静岡やJR静岡駅付近のゴミを拾います。私たちのミッションは、一斉のゴミが無くなること。そうなればチーム解散です。

※次回は3月10日(日)朝7:00～ホテルアソシア前です。

倫理実践・体験報告



2月3日に講話を担当しました。入会から僅かな期間ではありますが、自らを振り返る良い機会になりました。その思考過程の中で明らかになったことの1つは「苦難福門」でした。抱えている悩み(長女との関係)は自己革新への入り口と考えてみると、自ずとやるべき実践が見えてきたような気がします。敢えて長女との関係をいったん脇に置いたとすると、自分の起源となる両親とのことに想いを馳せられるようになりました。遠方に暮らす両親への愛敬の想いを形にするため、これまで数年に1回行くかどうかでしたが、昨年7月と今年1月の計2回屋久島を訪問しました。親孝行は生きているうちにこそすべきだと考えたからです。両親もとても喜んでくれました。「本を忘れず、末を乱さず(反始慎終)」の実践がいずれ長女との関係融和につながることに信じて。(運営委員 久米歩)

数字で見る静岡市倫理法人会

2月参加人数の推移		
	MS朝礼	MS
3日	16	40 (20)
10日	16	23 (22)
17日	18	24 (22)
24日	15	25 (22)